

隠れた佐伯の魅力

講師 番匠川流域ネットワーク 事務局長
平野 憲司 氏

・プロフィール:

昭和28年5月20日生まれ、満61歳。直川小・中、佐伯鶴城高校卒業。東海大学海洋学部海洋工学科(現静岡市清水区)卒業。



大分市、別府市で広告代理店勤務後、(株)テレビ大分報道部委託の佐伯駐在カメラマンとして現在に至る。

<活動略歴>・城山でムササビ観察会や調査を継続。

・博物館学芸員、社会教育主事(任用)資格等取得、生涯学習の手伝い。

・子ども達と川の体験活動。

・(財)日本自然保護協会自然観察指導員として佐伯市内で自然観察等の活動を継続。平成8年に始めた「親子たんけん隊どんぐりクラブ」は、19年目。

・自然体験活動や総合的な学習の一環で、小中学校等手伝い。

<公職・役職>佐伯市教育委員会社会教育委員、佐伯市自然環境調査研究会哺乳動物部門担当、環境省自然公園指導員、番匠川流域ネットワーク事務局長等<所属他>・(社)大分野生生物研究センター・日本海洋学会・日本哺乳類学会

・あちこち日本を歩き、隅々まで佐伯を尋ねました

仕事柄、ニュースの取材で佐伯はほとんどの場所を歩きました。本当に隅々にまで行っています。そしてつくづく思うのです、「佐伯ってすごい、いいところやなあ、いい所だらけやなあ」と。

何でそう思うかと言いますと、学生の頃、二十歳前後の頃ですね、日本中を旅しました。

随分あっちこっち歩きました。たぶん旅行をされたら分かると思うんですが、比較することで分かるということがあるんですね。実際に自分が外を歩いてみると、地元の良さが、比較対照して分かるんです。そういう意味で、いい経験をさせてもらったと考えています。

例えば、陸中海岸、津波で大きな被害を受けてしまいましたけれども、当時「ワーすごいな陸中って松島もすごいな」と思いながら、佐伯に帰ってみると、佐伯にもっとすごい景色があるんですね。

福井の東尋坊、沖縄の万座毛(まんざもう)、足摺岬とか、日本各地に崖で有名な所はいっぱいあるんですけれども、そんな所を歩いてみて、鶴御崎に行くと、「こげなすげえ所はねえわ」ちゅう風に思うんですよ。

当時、僕は東北が大好きで、盛岡から秋田に抜ける八幡平(はちまんたい)という山があるんですが、そこが好きでいつも歩き回ってたんです。ツキノワ

グマに会いたくて秋から冬にかけてです。あすこは、すごく穏やかな所で大好きでした。でも、佐伯に帰って傾山に行ったら、「こげなすげえ山はねえ」って感激しました。

・「おんせん饅頭」と「おっばい山」

昨日、どなたかニュースご覧になりましたか、津久見のニュース。

「言っちゃいました、おんせん県おおいた」って繰り返すCMが流れています、津久見は、すぐに「おんせん饅頭」を作っちゃった。それが、昨日各社のニュースにどーんと乗っかった。

「おんせん饅頭」だけじゃないんですね。そこに別府の入湯券がついている。別府市の市営浴場のパンフレットと一緒にギフトの入湯券を入れたんです。1000円くらいの10箱に、入湯券1枚が当たるわけです。津久見には温泉はないんですね。それでも「おんせん饅頭」を大っぴらに売り出しちゃった。

佐伯には温泉がないから、つまらんって言うのを聞きます。本当に、つまらんですかね。佐伯の場合は温泉はないけども、鉱泉はありますよ。「沸かせば温泉」という、こういう発想の転換、必要なんじゃないでしょうか。

今日のタイトル「隠れた佐伯の魅力」になっていますが、隠れて見えないというよりも、見えるけれども利用できていない「利用できてない佐伯の魅力」と言い換えた方がいいかとも思います。

その魅力もですね、必要と感じない人、たとえば子安観音に子どもと関係ない人がお参りしても全然意味が無いのと同じです、それを要求する人に対して、それに応えるという発想も必要かもしれません。

そういう意味で、彦岳を「おっばい山」で売り出すってというのはどうでしょうか。

彦岳、別名おっばい山、見事にきれいな形をしています。おっばいを必要とする若いお母さん方はいっぱいいるのでは。「おっばい山」のデザインをあしらった袋の佐伯の米をどんどん食べてもらって、「あっこにお参りしたらおっばいがいっぱい出る」。おっばいと「彦岳健康登山」をつなぐ。

強い子どもが育つよ。ついでに佐伯の魚を食わせたらカルシウムもとれるでみたいなことにならないでしょうか。

・「日本一の景勝地」に住んでました

僕、日本中歩いているだけでなく、結構いい所に住んできたんですね。先ほど言いました秋田の八幡平。十和田湖の入口の大湯温泉。静岡の富士宮市の富士山の裾野にも住んでたんです。真正面が富士山です。大学が清水だったんで、日本平の麓に下宿があって、窓を開けると駿河湾と富士山がばーあっと広がる。今は世界遺産の富士山、毎日見ていました。

長野県の大町市ってご存じですか。後立山って山々があってそこに2年間くらいずるずるいたんですけど、一つだけ紹介しておきたいのは萩原守衛(お

ぎはらもりえ、碌山(ろくざん)っていう長野出身の彫刻家、ロダンの愛弟子って言われている人です。

彼の美術館、地元のみんなが財団を作って、煉瓦を積んで、チャペルのような建物を作っちゃったんですよ。美術館の中には狭いのですが、そこに無造作に彼の作品が何体も並べてあるんです、でかいのが。ヘラの跡とか、手の跡とか全部触れることができる。私、そこに2年間通って絵の勉強をさせてもらったんですけど、隣の穂高中学校の子ども達が毎日掃除してくれるんですよ。毎日子ども達はその彫刻を拭いて掃除をして、超一流の作品に触っているんです。掃除をして愛着を持ってですね。そういう地域作りっていうのが根付いた場所だなんていう風な気がしたんですね。

・地名の読み方を知りたい

堅田に「波越」っていう所がありますね。正式に何と読むか知っていますか。「なんごう」じゃないんですね、「なんご」なんです。僕は初めて知ったんですよ。行政的には波越(なんご)なんです、地元は「なんごう」っていうんです。でも歳いった方は、ここは「なんご」やっ！て言うんです。

大分県で一番南の海岸(日本の白砂青松百選に選ばれてます)「波当津」、何て読みますか皆さん？

「はとづ」って言いますよね。私は「はとづ」って言っていました。

米水津にしても。間越にしてもあれ「はごこ」とか読めませんからね。因尾だとか、普通の人は読めませんよ。小半なんて絶対無理ですよ。

だから、佐伯の人も含めてですね、地名をもうちょっとアピールした方がいいんじゃないかなあって思うんです。地名の読みを統一していただきたいですね。佐伯の地名辞典を作ってもらいたいですね、イントネーションも含めてですね。

・「人生必ず1回は陽が当たる」

僕の哲学は「人生必ず1回は陽が当たる」です。たとえば石に絵を描いて、30年って人などはですねやっぱり何かのきっかけでぼーんと脚光を浴びることが有るんですよ。

どんなことでもいい、どんな些細なことでもいい。どんな馬鹿なことでもいい。たとえば漬け物を漬けて50年とかね。もうこの人に聞けば漬け物のことで分からないことはない、漬け物博士だみたいなことですね。やっぱり何らかの時に脚光を浴びるんです、本当。要は、このチャンスをうまく利用できるかできないかです。

本当に好きで、人から認められなくてもいい、私はこれが好きなんだ、誰から何と言われようともこれを続けていきたい、という人は必ずいつか脚光を浴びてぼーんと上がってきます、絶対です。佐伯の中にそういう方たくさんいらっしゃると思いますね。

・「1市民1名所」

「私は佐伯の中でここが一番好き」という場所、

皆さんあるんじゃないでしょうか。私は「城山」です。次は、「波当津」。波当津海岸のもう一つ南側、宇土崎との間にある浜が好きです。

本当は、こういう場で私がしゃべるより、皆さんが「私の好きな所ここ」って話し合ってみるといいと思います。薦めたい所、その理由、物語を話すとすれば、これはすごい、無限に佐伯の名所って広がるんじゃないかなって。そういう意味で皆さんが「1市民1名所」を意識して、表明しあうと、もっと佐伯の素晴らしさが広がるんじゃないでしょうか。

・「僕の一番好きな所は城山です」

仙台の青葉城、松山城とか各地にも城山はありますが、自然度が高く超一流の森が残る城山は「佐伯城山」ですね。ここは、照葉樹林帯の見本のような森で、木々と生き物が生態系として残っているんですね。



僕が今つきあっているムササビ、森の健康度を測る役割もしているんです。

京都に行ってムササビ研究の先生とお話しをしてきたんですが、国内でもたぶん他に例がない場所です。ムササビって、雄が2ヘクタールに1匹、雌が1ヘクタールに約1匹いる、これは非常に健全な森の場合です。

僕等は、独歩碑の道と登城の道の間に挟まれた約4ヘクタールの所で、4年間、8回調査をしてるんですが、一回につき出てくるのは、平均16匹です。単純に計算して、雄が2匹、雌が4匹で、通常ですと6匹が正解です。それがここ城山では、最低でも14匹は出ると先生に報告したんです。

最近の研究で雌がそれぞれ子どもを2匹持つてる可能性がある。雌4匹としたら4+8、12匹いるはずだ、それに雄が2匹いると14匹。すると僕等が出したデータとピシヤッと合うんです。何とか報告書にまとめてみたいと思っています。

僕がムササビをやっているって考えていることはもう一つ。皆さん他所に行ってホテルに泊まりますよね。その時にホテルに着くのがだいたい3時から4時くらい、夕食が7時だとするとその間どうします。佐伯は温泉がない。

実は、その時間帯で城山を案内できないだろうかと考えているんです。町並みを歩いてですね、ムササビはだいたい6時半頃から動き始めますから、三の丸で見ることが出来ます。ムササビを見てもらいそして宿に帰ってお食事をしていただく。そういう利用の仕方で、「佐伯の魅力」、是非ランクアップさせたいんですが。

・「4チャンネル」TOS、皆さんを盛り立てます

僕はニュースの取材を担当していますので、「何か地元でやりたい」あるいは皆さんで「こんなことを計画しています」とか、「こんな面白いことがあります」とか、ほんのちょっとしたイベントでも結構です、ご連絡下さい。なるべく皆さんの活動をもり立てるよう、4チャンネルのTOSニュースをご活用下さい。